

MEISEI HIGH SCHOOL SHICHARU LABO.

島根県益田市 魅力化プロジェクト 「まちと食卓」について



明誠高校「しちやるラボ」

明誠高校の学生が結成した研究所。
「しちやる」は方言、～をしてあげる。何かをする時に言う言葉。

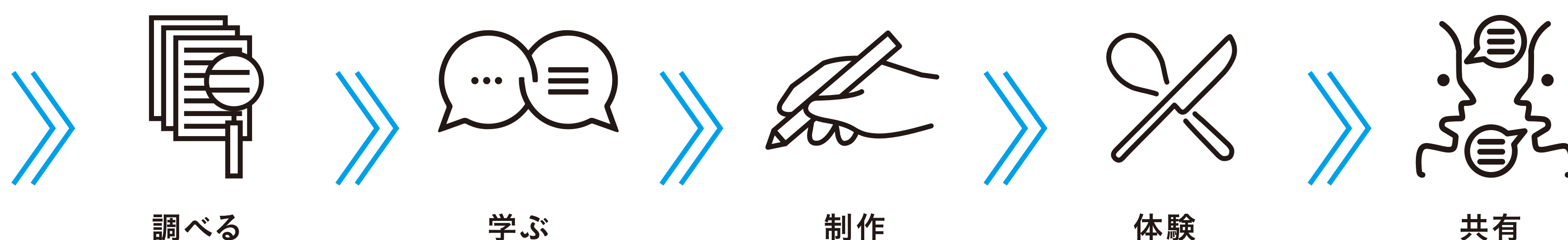
今回のプロジェクトは明誠高校の有志の学生で結成した「しちやるラボ」と益田市の地域の方々と講師に益田市で育ち関西で活躍するデザイナーを含む2名を迎えてスタートしました。

明誠高校には益田市で育った学生と、他県、関西や九州など様々な地域から学びにやってきた学生がいます。
私たちは3年間を過ごす土地のことを知り、魅力的な街で過ごしたとを人に伝えたいという思いから島根県と益田市について調べました。

島根県益田市は海と山があることから豊富な食材や食にまつわるたくさんの歴史があり、いろんな世代と地域の人と共有できる身近な話題ということもあり、

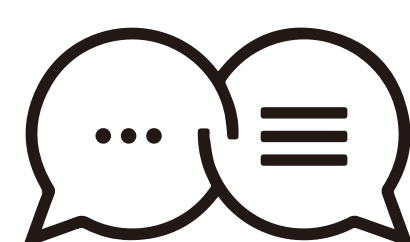
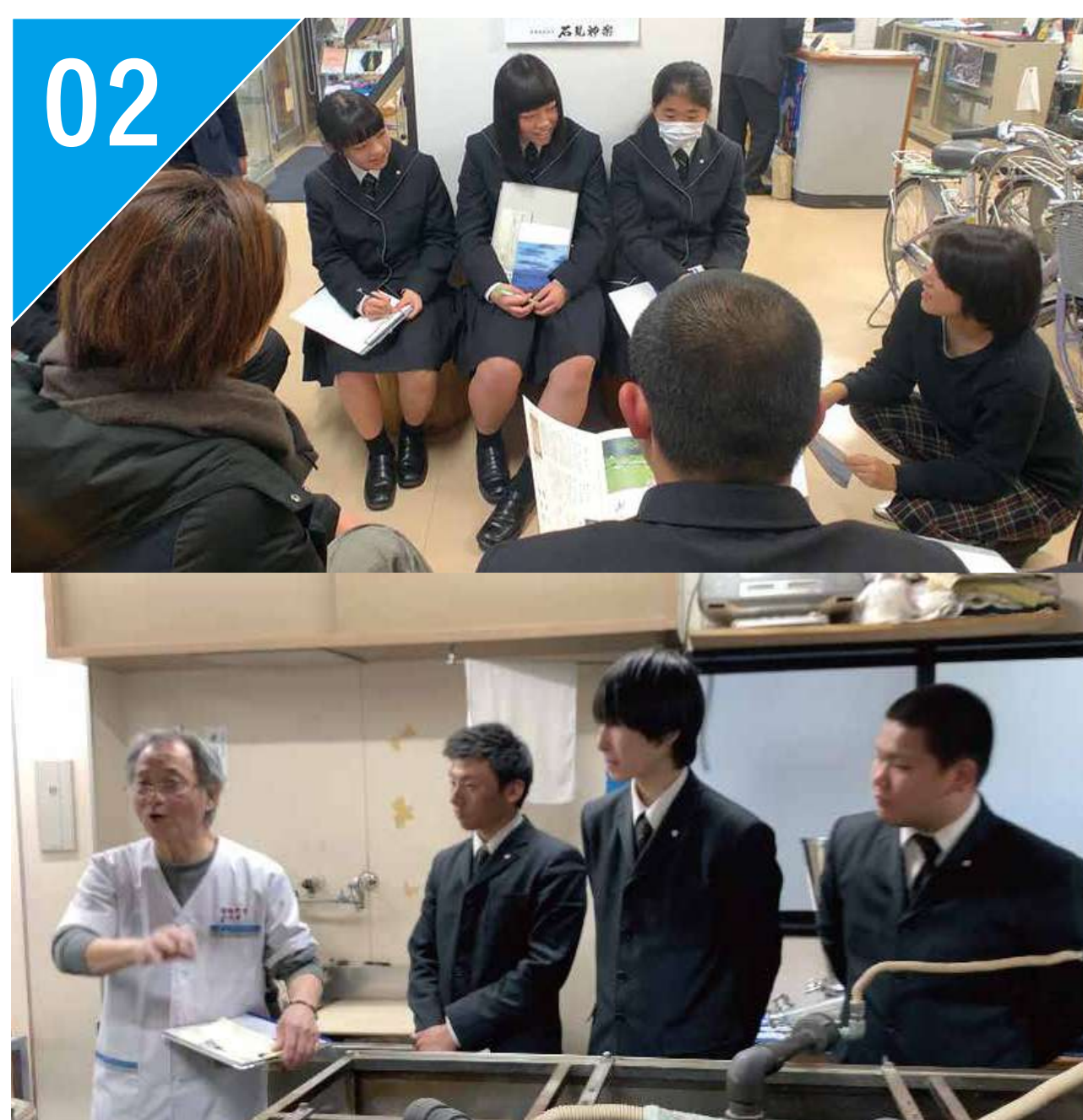
今回は「食」をテーマにコミュニケーションをしていくためのツールとしての冊子を制作することになりました。

プロジェクトの プロセス



調べる

島根県と益田市の基本的な歴史や環境をWEBや図書館などを活用して調査地元の学生と他県の学生でトークセッションも。



学ぶ

食につながる環境・街の発展などを地域の人や市役所・環境協会の人から教えてもらう暮らししているだけでは知ることのない情報もたくさん学びました。



制作

学び、アウトプットしていく情報を記事にし、編集の方法を考える。記事・イラストも学生で制作。活動を周知するためにもユニフォームを作り、イベントで使い分けることに。



体験

調べて知った地域に伝わる食や地域で取れた食材を味わう実習。普段料理経験のない男子メンバーを中心に調理体験。



共有

島根県益田市各所や他県施設にて制作した冊子を配布。経験談をもとに学生が地域の方とコミュニケーションをしながら配布していった。3時間で600部の配布も。



年齢関係なく話せる「食」を共通の話題として地域交流をおこない、モノづくりと伝えることの大切さ体験。島根県と益田市の魅力を伝えていくことのできる卒業生を送り出します。彼、彼女たちがこれからの日本や地域の未来を作っていきます。在学生もプロジェクトを継承し活動中です。

MEISEI HIGH SCHOOL
**SHICHARU
LABO.**
益田◎島根

